

米中から「いじめ」を出しません

学校一丸となった取り組み

「いじめ」問題に、学校現場ではどのように取り組んでいるのか
米山中学校（千葉和彦校長・生徒数 271 人）では、
全校集会を開いたり各クラスで「いじめ撲滅スローガン」を作ったりするなど
学校一丸で「いじめ」問題に取り組んでいます。



▲全校集会で「いじめ撲滅」を誓う米山中の生徒たち

「これから、いじめ撲滅運動、全校集会を始めます」という、生徒会佐藤明日香さんの進行でいじめ撲滅のための全校決起集会が始まりました。これは、長い間生徒会を中心に学級ごとに取り組んできたものです。先日も名古屋で中学2年生がいじめを苦にして尊い命を自らの手で絶ってしまいました。こんなにマスクで取り上げられ、さらには文部科学省でもさまざまな取り組みが教育現場に提起されているのに、なぜ、いじめがなくなるのでしょいか。

現在、この米山中学校ではいじめは皆無に近い状態です。しかし、だからそれでいいということにはなりません。一人一人が「平和で、楽しい学校生活をおくるために」何をなすべきなのか、なにができるか、真剣に考えていく必要があります。



米山中学校
千葉 和彦 校長

「平和で楽しい学校生活を送るために」
一人一人が真剣に考える必要がある。

特集 「いじめ」問題 どう取り組む

米山中・いじめ撲滅宣言

—平成 25 年 7 月 17 日—

私たちは、どんな理由があっても
いじめません
いじめをさせません
いじめを無視しません
もし、誰かが苦しんでいるなら見過ごさず
手をさしのべ、勇気を出して、いじめは間違っていると声をあげ周りの大人に伝えます。そして私たちはこの米山中からいじめを追放します



小泉 杏奈さん
(米山中3年)

生徒会中心にいじめ撲滅

米山中生徒会長の決意

最近、いじめについてのニュースをよく耳にします。いじめを受けて傷ついている人たちがいます。みんなが楽しい学校生活を送れるように、学校に

はいじめがあつてはならないと思いません。私たちが米山中学校では、いじめ撲滅運動を展開しています。全校集会をしたことで全校生徒のいじめに対する意識が高まったと思います。今後、さらに私たち生徒会本部を中心に、いじめについての呼び掛けをしたり、いじめ撲滅に対する俳句の募集をしたりといった活動をしていきたいと思えます。そして、米山中学校をいじめのない学校にしていきたいと思えます。

◆米山中学校の「いじめ撲滅スローガン」◆

1年1組	1年1組のスローガンは、「常に笑顔、友を思い、命に感謝」です。なぜなら「相手の気持ちを考える友達」「仲間を大切にすること」のような意見が多数あり、そのためには、命があることに感謝し、笑顔でいることが大事だと思ったからです。私（僕）たち1年1組は、このスローガンで、これからの生活をいじめのない明るい生活にしていきます!!
1年2組	私たち1年2組は「みんなが楽しい学級生活をおくれるように、相手の気持ちに、自分をおきかえて、思いやりの気持ちをもちながら行動しよう」というスローガンにしました。ほかにも「相手の気持ちを考えながら行動する」「1人1人が相手の気持ちになって行動する」などの案が挙がりました。その中で思いやりの気持ちをもつという事がすべての案に共通していました。そこで、全員の案が、全て入っているこのスローガンを、私たち1年2組のスローガンとしました。
1年3組	1年3組のいじめ撲滅スローガンは「自分の意見を尊重しつつ、相手の気持ちを考えて行動する」です。理由は、他人に意見や質問があるときは厳しい口調にするのではなく、相手が嫌な気持ちにならないように優しい口調で話すなど、小さなことから差別をなくし、いじめをなくしていこうという考えです。そして、誰かがいじめられていたらすぐに行動して注意して、仲間に入れるとういうことに決めました。
2年1組	僕たち2年1組は「友達のいい所を見つけて、お互いが気持ちよく生活ができるようにしよう」というスローガンをたてました。お互いを尊重し合えば空気がよくなり生活がしやすい環境ができ、みんなが楽しくすごせると思ったからです。他にも、いじめを見て見ぬふりをしない、人の嫌なことをしない、などの意見もありました。これからは、1人1人が意識し、このスローガンを守っていききたいです。
2年2組	私たちは、「見つけよう、わたしときみの良いところ」というスローガンをつくりました。私たちのクラスでは、ただスローガンをつくるだけでなく、なぜいじめがいけないのかを全員で話し合い、私たちにできることを考えました。その中で、「人の良いところを見つけよう」という意見が出ました。「人」は相手の悪いところばかり見つけたがります。それだけでなく、互いに、良いところを見つけあえば、「人」は心身共にいい方向に進めるはず。そのような思いを込めてこのスローガンを作成しました。私たちはこのような小さな事にも、心から向き合っていきたいと思えます。
2年3組	僕たち2年3組は、いじめ撲滅のために、「あなたは人の悪い所だけをみていませんか？」というスローガンをたてました。学級の話合いでは「どんなことがきっかけでいじめが起きてしまうのか？」という意見が出ました。普段から人の悪い所だけをみたりしているといじめが起きてしまうと思えます。人の悪い所だけでなく、良い所から見ればいいと思えます。
3年1組	先日、いじめ撲滅のためのスローガンをクラスの班ごとに話し合ったところ、どの班も「相手の気持ちを考える」という意見が多く、また、相手の良いところを見つけるや感情に任せないなどいじめをなくすため、いろいろな意見が出てきました。それらの意見をまとめて、私たちのクラスは「相手の気持ちを考えて、信頼し合える関係をみんなでつくろう」というスローガンにしました。このスローガンを守り、いじめがなくなるようにみんなで努力していききたいと思えます。
3年2組	3年2組では、「あつてはならないいじめ、なくさなければならぬいじめ、逃げてはならないいじめ問題」というスローガンになりました。広い心で相手の立場になって物事を考え、そして自分の行動・言動が正しいかどうか、善悪の判断をつけられるようにすることが大切だという意見が出ました。また、個人の意見、個性を尊重し自分がされて嫌なことは相手にも決してしないこと、そしてよく話し合いをすることも必要という意見もありました。これからの取り組みとして、どんな小さないじめも見逃さず、いじめられている人を守り、そして、いじめのない豊かな学校をつくるために常に、この問題に目を向けていきたいと思えます。
3年3組	3年3組からは「笑顔の五か条」という、案が出ました。一つ、相手の気持ちを考えよう。／一つ、互いの個性を認めあおう。／一つ、善か悪かを見極めよう。／一つ、救いの手をさしのべよう。／一つ、みんなで作ろう 笑える心。という内容です。この案の目標としては、学級全体が明るくなり、一人一人が相手の立場を考えられるようになることです。そして、一番大切なことは、止める勇気です。もし、いじめられている人がいたら、助けてあげましょう。いじめている側も、いい思いは、しないと思えます。そして、米中からいじめをなくしていきましょう。